

# 一般質問



おお ぬま ゆ み こ  
大沼 由美子 議員



新島村連携型  
一貫教育の現状と  
見直しの必要性

一問一答方式

**問** 発足以来既に38年が経過している事業であるが、当初の目的である「生徒一人一人の資質能力開発」が教育現場で実践されているか。

**答** 社会や教育環境の変化に対応し、毎年度成果の検証や次年度への改善について協議している。令和4年度には「新島村健全育成協

議会」「新島村教務・キャリア教育協議会」「新島村学校ICT教育推進協議会」が新設され、連携しながら活動を行っている。具体的には、教科を中心とした学習連携・交流の研究等を目的としている。

新島村のすべての教員が参加することで、子どもたち個々に対し、きめ細やかな育成に努めている。

**問** 年1〜2回の一斉研究授業等として本来の活動が形骸化されていないか。

**答** サブテーマとしては①一人1台端末の活用②各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる③教科等横断的な学習④キャリア教育の視点これら4件のサブテーマを各11教科でそれぞれ選択後研究テーマ等を決定し、1年を通して活動している。

また、各教科の活動は全体発表会を含め年間5〜6回の研究協議を行っている。その中の一斉授業が年2回行われ、各教科部会員がその授業を参観後児童生徒への協議検討を実施している。

**問** 時代に合った一貫教育への見直しを！

**答** 小学校、中学校、高等学校は文部科学省により定められている「学習指導要領」により教育課程（カリキュラム）を編成している。別に一貫したカリキュラム（義務教育学校制度）を編成するには教育課程の特例となり、文部科学省から指定を受け学習指導要領等によらない教育課程の編成を認められる必要がある。新島村の学校では同一カリキュラムでなくとも、校種を超え各校の

教科の取り組みについて児童生徒のために労を厭わず取り組んでいる。

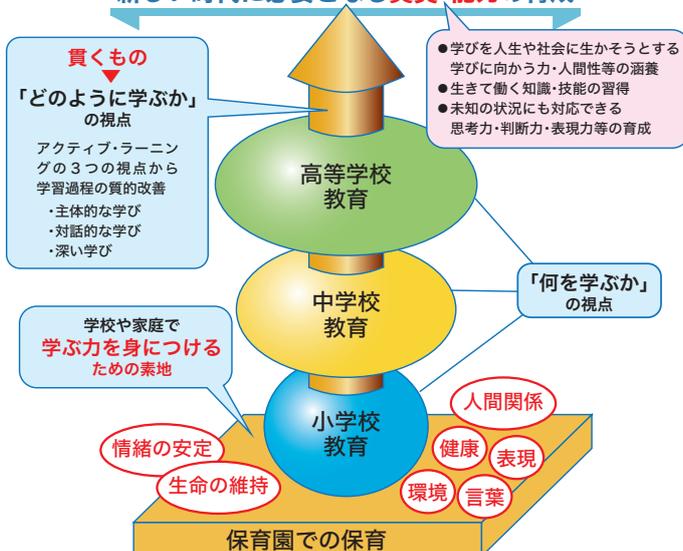
## POINT

少子化問題はもはや逆行できない社会問題である。人口が減り、日本社会が音を立てて縮小の一途をたどるなか、次世代育成「教育」こそが暗い世の中の一糸の光である。しかしながら、昨年の不登校児童生徒は34万人を超えて右肩上がりである。今こそ教育現場の数々の問題を直視し、次世代を担う児童生徒に安心して勉強できる学び舎を確保すべきと思う。

新島村連携型一貫教育研究の基本的な考え方

目指すもの▶「何ができるようになるか」の視点

新しい時代に必要となる資質・能力の育成



一般質問



とみ た ひろ あき 富田 浩 章 議員



令和7年度事業について

一問一答方式

**問** 令和7年度は、本格的に大沼村長の政策が実行されていくと期待しているが「注目すべき」事業や制度は？

**答** これまで、島外受診交通費等助成の見直し、学校給食の完全無償化を実現。また、給付型奨学金制度の創設について、来年4月からの施行を目指している。ハード施策についても役割

本庁舎や診療所などの公共施設の整備計画の策定に向けて、今年度中にP.Tを設置するとともに、事業の平準化も含め検討を進めていく。また、来年9月までには機構改革の全体像を示したいと考えている。

羽伏浦海岸道路は令和元年の台風被害により崩落した後、実に5年間放置されたままであったが、工法も含め具体的整備に向けて取り組んでいく。同時に羽伏浦海岸全体の海岸保全についても東京都としっかりと協議を進めていく。



東京都との合同防災訓練で水洗トイレの設置を！

一問一答方式

**問** 来年度は東京都との合同防災訓練がある。そこで訓練を契機に「電気も使える水洗トイレ」を購

入、もしくは参加機関等に呼びかけ展示し、訓練会場で村民が実際に体験できるようにしてはどうか。



人材確保の工夫を！

一問一答方式

**答** 現在のところ、購入予定はないが、訓練を通して住民の防災意識向上を図るため、トイレに限らず展示や体験など、東京都と協力して企画検討する。

**問** 何かを実行するにしろ「人材不足ができない理由の一つ」となっている。機構改革の一つであると思うが、施設などの見直しを含め、人材確保の策はあるか。

**答** 施設の閉鎖等は考えていないが、DXなど専門的な人材については、地域活

性化企業人制度を活用するなど、あらゆる面で人材確保に努めていく。



高齢者を対象とした行事の充実を！

一問一答方式

**問** 新島村をこれまで支えてきた高齢者に、敬老演芸会のさらなる充実やイベントの統合などを考えるべきでは！

**答** 各種イベントについて、見直しの時期に来ている。イベントを合体させ、中身をより濃いものにするともに、準備や開催の日数的負担を軽減するなど、開催方法、内容、横断的な視点をもって検討していく。



認知症について学んでいただく機会を！

一問一答方式

**問** 新島村における認知症患者数は？まずは認知症のことを知ってもらうことが必要。村はどのように考えているか。

**答** 把握できている人数は約200名だが、認知症および軽度認知障害を抱えている方の数は、推計で270人弱。介護予防リハビリ教室や若返り体操教室、シルバー人材センターの健康相談などでも認知症予防のメニューは取り入れて実施している。軽度認知障害も含め、認知症および介護予防については、しっかりと取り組んでいく。

## 一般質問



よしみ かずゆき  
吉見 一之 議員



鹿駆除事業は  
やめられない！

一問一答方式

**問** 有害鳥獣防除事業は、主に鹿駆除を対象として毎年3〜4千万円の予算をかけて行われている。近年では目撃例や農作物被害も減少しているため、たびたび当議会でも取り上げられているように、住民からも継続を疑問視している人も多いと感じている。今後の村の方針をお聞きしたい。

**答** 現在農地等の被害報告はほとんど無く、捕獲数も宮塚山・新島山が9割ほどを占めている。このエリア

の鹿を捕獲するため罠の設置場所を見直し、捕獲圧をより高めることを計画している。捕獲従事者は限られたメンバーで一生懸命取り組んでいるが、今後も新規従事者の募集をはじめ、委託方法の変更による処遇改善も考えている。

**問** 現在も600頭ほど

生息している。単純計算で3〜4年で倍増する鹿を、根絶することはそもそも不可能であることから、未来永劫継続しなければならぬ事業であると認識した。今後とも効果的に事業を進めていただきたい。



松の立ち枯れ対策

一問一答方式

**問** 新島では、近年松等の立ち枯れが目立つが、対策状況についてお聞きしたい。

**答** 松枯れの原因は、「マツノマダラカミキリ」虫に寄生する線虫が樹木を枯らすとされている。媒体である昆虫を駆除する地上散布や、被害が出ていない樹木に抗体を注入する防除も実施している。現在、村では数量調査を行っており、調査終了後に伐倒等の工事を発注することになっている。



シークレットポイント  
に養浜工事を！

一問一答方式

**問** 先日大島支庁管内事業説明会において、従来無かった羽伏浦方面海岸の養浜工事が適用される事となったが、シークレットポイントの養浜工事計画についてお聞きしたい。

**答** 通称シークレットポイントは、従来海岸から沖合まで玉石が存在し、そこで

波が立つことで白ママ断層に直接波がぶつかる事は無かったが、台風により玉石が無くなってしまったことで、波が直接白ママ断層に打ち寄せ侵食が進む状況となっている。当地域は、「環境保全ゾーン」と位置付けをし、養浜・安全性確保・景観保全も重要課題の一つと考え検討委員会の中で議

論し、国や都と連携しながら協議していきたいと考えている。

ひろこし

新島にとってサーフポイントとは、観光地として唯一無二の差別化であり、重要な資源であるとともに人口減少の抑止力であると考えている。国や都に対して「サーフィンのために予算をください」と諦めずに交渉し続けたい。



▲赤茶色に染まる木々

一般質問



あや とおる 議員

**答** 「年収の壁」等の懸念を検証している。(村長)

**問** 安心・安定雇用の面からも、連続任用にすべきだ。

**答** 現状、毎年公募、採用だが、令和7年度連続任用を実施する。(村長)

一問一答方式

**車** 会計年度任用職員の賃金1200円へ

**問** 10月1日より、最賃は50円アップし1163円となった。昨年に続き改善を求める。

**答** 給与改正後は、時給1200円程度を見込む。4月に遡及し、差額支給する。(村長)

**問** 総務省通知で、会計年度任用職員にも勤勉手当を令和6年度から支給開始とした。

一問一答方式

**耳** 加齢性難聴者の補聴器購入費補助の概要は

**問** 23区ではすべて制度化し、島しょ部でも利島村・三宅村で実施している。補助の概要は？

**答** 障害者総合支援法の補助額と整合性を図り決定したい。(民生課長)

**答** 補正予算を計上し、聴力検査機器オーディオメーターを購入する。(村長)



一問一答方式

式根島の村道拡幅・改修を！

**問** 主要道路であり、行き違いも難しく安全上も問題がある。村道の拡幅・改修が必要だ。建築基準法で、公道、私道問わず4メートルとなっている。

**答** 道路構造条例で車道の幅員は4メートルとなっている。(建設課長)

**答** 現状は認識している。土地・建物所有者との協議など前向きに取り組んでいく。(村長)



一問一答方式

下水道式根島処理区の再評価を！

**問** 令和8年度一部供用開始で進められている。工事費用の増大、接続件数、人

口減少、将来の負担等々、見直しが必要な要素がたくさんある。再評価委員会で審議を！

**答** 令和7年度事後評価委員会を開催予定。その評価を反映していく。(村長)



一問一答方式

伊豆諸島海域、洋上風力発電への対応は

**問** 小池都知事は、伊豆諸島海域に100万キロワット級の洋上風力発電施設の整備を打ち出した。村の基本的スタンスは。

**答** 事業について前向きにとらえ、住民・関係者と協議を進め取り組んでいく。(村長)



一問一答方式

特別支援教育の充実を

**問** 特別支援教育が実施され、対象児童・生徒がいる。個々のニーズ・条件に合った教育で各自の能力・可能性が広がるよう、教室や教員の確保等、環境整備が必要だ。

**答** 施設について、学校現場から声があれば、協議、改善していく。(教育長)



▲建設中の式根島下水道施設

## 一般質問



議員 利佳 保久 小

**再開した運動会、島民まつりの手応えは？**

一問一答方式

**問** 7年ぶりに運動会、6年ぶりに島民まつりの実施となったが、島民の反応や手応えは？

**答** 島民まつりは悪天候でステージ発表が体育館になり、子供たちのためのふわふわアスレチックが1日のみで開催となり残念な部分もあったが、祭りに向けて練習してきた発表者にも迷惑をかけず、多くの住民に

披露できた。またユーチューブでの生配信で、祭りの模様がお伝えてきた。来年度以降も、今年の反省を踏まえ、開催時期や内容を検討する。(村長)

**答** 運動会は人口減少で参加人数の確保が困難であるとの意向を汲んで、町会の参加種目は町会対抗リレーのみとし、残りの2種目は教育委員会で参加者を公募する形をとった。アンケートはQRコードを活用。89件の回答があり、おおむね好評であったと感じた。運動会の成果、課題、今後の改善点などについて協議し

次年度についても準備会を立ち上げ、検討していく。(教育長)

**新島村の景観形成に  
ついでに推進計画は？**

一問一答方式

**問** 東京都主催で令和3年度より調査やアンケート、説明会などが実地されてきたが、新島村行政としてはどのように新島村の景観形成を進めていく計画か？

**答** 令和3～4年度に行つた基礎調査の成果を踏まえ、景観形成のモデル地区案や、現地調査および具体化に向けた検討を行った。令和5年度には景観形成に向け住民などの機運醸成を図るための支援策の検討や、景観形成に関する意識調査を実施。令和6年度には、新島村の住民をはじめ、関係者が広く共用できる良好な景観形成の方向性、またその実現に向けた手法などを示す良好な景観ガイドラインを作成していく方向。また景観条例の策定も含め、検討していく。

**問** 景観形成がもたらす、地域への愛着や意識の变化、景観活用や集客効果を生民に周知していく必要がある。コーガ石の建造物や町並みは新島にしかないもの。文化庁への文化財登録の資料提出は、必ず関係地方公共団体を經由する必要がある。文化財の保全にも取り組んでいただきたい。

**答** ガイドラインは一つの建物ではなく、島全体の景観について。コーガ石の歴史的价值は十分認識している。文化財保護についてまた別の部分で考えていきたい。

**問** 新島コーガ石建造物調査会や愛好家、地質学の専門知識有識者と連携を図り、コーガ石の建造物保全を含めた景観ガイドラインの作成に向けて一歩でも二歩でも進めてほしい。



▲子供たちに大人気だったフワフワアスレチック

一般質問



前田 勝利 議員



防災対策について、より実践的で具体的な訓練を

一括質問方式

問 村のさまざまな対策のなかで、防災対策は最重要課題の一つであると認識している。先般11月16日に実施した今年度の防災訓練の反省をもとに、今後、さまざまな災害を想定した、より実践的で具体的な訓練を行う必要があると思うが、いかがか。

答 すべての災害から住民

の生命財産を守ることが第一の使命であると思っっている。防災に特化した職員の配置、全職員の防災意識の向上など、庁内から防災対策の強化をしていく。

より実践的な訓練の必要性は感じており、令和7年度実施予定の東京都・新島村合同総合防災訓練においては、多くの住民に参加していただき、住民一人ひとりの防災意識と防災知識の向上を図っていく。訓練内容や啓発、展示等の詳細はまだ決まっていないが、被害想定を含め、より実践的な訓練となるよう東京都をはじめ関係機関と連携を図りながら決定していく。



新型コロナウイルス感染症対策の徹底を

一括質問方式

問 避難所に避難した全世帯の感染症対策とプライバ

シー保護の両立、手指の消毒や検温・マスクの励行の徹底などの周知が必要。感染症対応の天井開放型テント、マスク、手指の消毒液、非接触型体温計、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの備蓄数は。

答 感染症対応の天井開放

テントなどは、室内用ルームとして畳2畳の大きさのもの、本村地区70、式根島地区50、若郷地区30、それに付随して同じ数のエア1ベッドを備蓄。マスクは2万3千枚、手指消毒液は67リットル、非接触型体温計9個、新型コロナウイルス抗原定性検査キットの診療所における保有数は、新島・式根島あわせて83個。



復興計画などの進捗状況は？

一括質問方式

問 地域防災計画では、復興体制をつくるための「家屋被害現況調査」、復興の基本的な考え方をまとめる

「村復興基本方針」の作成、無秩序な建築の制限を行う建築制限、復興への具体的な計画をまとめる「復興基本計画」および「復興まちづくり計画」の作成を行うとあるが、それらの計画などの進捗状況は。

答 事前の復興計画は、発

生しうる災害による被災分布や規模を想定し、復興後の空間を計画するものであり、復興まちづくりの目標や実施方針、目標の実現に向けた課題などの方策をまとめるものと理解している。地域防災計画にある復興計画の部分については、被災後の計画策定部分ではあるが、事前復興計画については必要とされる計画の一つであり、現在、策定にむけ調整している。



▲若郷地区の避難訓練(若郷トンネルの入り口付近)